

一般社団法人 洸楓座 代表理事 佐藤 建吉

とされている。この復旧を単なる「元に戻す」だけでなく終わらせるのではなく「次の時代の鉄道へ進む機会」として捉えることはできないだろうか。

水素鉄道の実現には車両、燃料電池、航続距離、出力、設備、保安基準、コストなど、技術的、制度的な検討を要するが、房総横断鉄道BXRとしての

交通